

# TONE NOTE CARDS

解説書

1. はじめに
2. 音階カード (1~31)
3. 音符種類カード (1~32) ※臨時記号含む
4. 演奏記号カード (1~27)
  - ト 速度標語
  - ト 速度標語に添えられる言葉
  - ト 演奏に関する記号
  - ト 強弱記号
  - レ 反復記号
5. 調号カード (長調 : 1~15 枚)
6. 調号カード (短調 : 16~30 枚) + 解説 3 枚
7. 掲載項目表

## 【付録 -1】

- ・ 鍵盤表 (A4 でプリントしてご使用下さい。)

## 【付録 -2】

- ・ 鍵盤表 (A4 でプリントしてご使用下さい。)

## 音符カード（大人用）

子供用の音符カード（音符が読める様になる練習カード）は沢山ありますが、成人してからの音符カードは少ないようです。音符は数えていては、（ドからドレミファソだからソだ！と…。）いつまでも読めません。「漢字」を一目見て、読めるのと同じ様に丸覚えして、瞬時に言えなければ楽譜のスピードにはついて行けません。単純な方法ですが、「音符カード」が一番効率の良い「暗記方法」です。

大人になってからでも譜面を読む事が必要になる方が沢山します。

ミュージカル（歌や演技、ダンスが出来ても！）や楽器を始める全ての人が楽譜が読める訳ではありません。

しかし、ミュージカルや楽器（DTMを含む）をする場合、やはり、音符読みやピアノが出来た方が有利です。プロで活躍する場合は、初見で楽譜が読めないとやはりオーディションでも苦労する事になります。

まずは、このカードを使って直感的に読む練習をしましょう。

難しい理論は後回し！まずは、音符を瞬時に読める練習が楽譜を読む近道です。

また、ト音記号（高音部記号）は読めても、ヘ音記号（低音部記号）が以外と読めない方も沢山します。歌を歌うだけなら、ト音記号は不要かもしれません。しかし、作曲や初見で（オーディションなど）歌うときはピアノ譜やコード（和音）が読めた方が、楽曲を深く理解できます。

音符の他にも、調や演奏記号や速度記号などもありますので、勉強してみて下さい。

### 【覚え方】

- ・トランプの様に、順番をバラバラにして、「単語カード」の様に、めくりながら覚えましょう！
- ・家族や友人に、カードを渡して出題してもらうと楽しく覚えられます。
- ・覚えたカードは、外して少なくなる様にしましょう 全て、無くなれば 終了です。
- ・★の部分に穴を開けて「カードリング」で繋げてもOK

※必ず確認して下さい。

### 【セット内容】

#### ●基本セット（2種類のカード）※リング用の穴は空いていません。

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚）※表紙や付録を除く

#### ●フルセット（全4種類のカード）※リング用の穴は空いていません。

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚／演奏記号：27枚／調号カード：28枚+3枚）

※表紙や付録を除く　※説明書はHPでダウンロードして下さい。

#### ●完全リングセット（全4種類のカード+説明書）

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚／演奏記号：27枚／調号カード：28枚+3枚）

※表紙や付録を除く

※完全リングセット以外は説明書は貼付されていません、HPでダウンロードして下さい。

※ファイルホルダーのバーの色や仕様は予告無く、変わることあります。また色も選べません。

※音符カードの仕様や内容は予告無く、変わることあります。

## 2. 音階カード (1~31)

【表】

ト音記号  
又は、  
ヘ音記号

五線

加線

【裏】

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

日本読み

アメリカ読み

整理番号  
(※音符とは関係ありません。)

イタリア名：ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド (一般的な読み方)

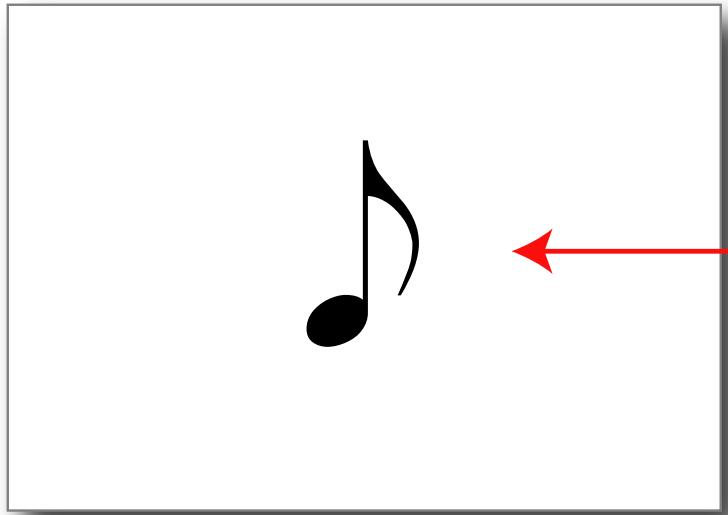
日本名：ハ ニ ホ ヘ トイロハ (調の読み方に多く使用)

アメリカ名：C D E F G A B C (ポピュラー)

※音階の数は「付録-1：鍵盤表」を参照して下さい。(4 octave)

### 3. 音符種類 (1~32)

【表】

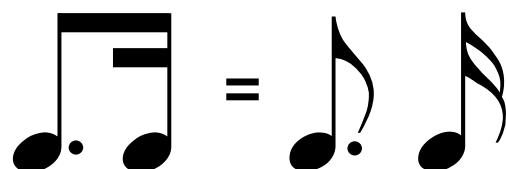


【裏】



整理番号

(※音符とは関係ありません。)



「はた」の付く音符が続いた場合は、繋げて表記される。

音符名称

ぼう  
(符幹)

はた (符尾)

付点

たま (符頭)

## 4. 演奏記号 ①

速度標語

【表】



メトロノーム速度  
1分間に 40~60 個の 4 分音符が入る

【裏】

標語名 →

整理番号 →

(※標語とは関係ありません。)



$\text{♩} = 40\sim60$  メトロノーム速度

Grave ( グラーベ ) : 重々しく、非常にゆっくりと

Largo ( ラルゴ ) : ゆるやかに、広々とした感じで

Larghetto ( ラルゲット ) : ラルゴよりやや速く

Lento ( レント ) : ゆるやかに

Adagio ( アダージョ ) : 穏やかに、ゆるやかに

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

速度イメージ

※テンポの数値や解説は、目安です。

「BPM=120」 や 「MM: 120」 と表示してある場合あります。

$\text{♩}$  左に表示してある音符が一拍を数える基準になります。

※標語表記のテンポの数値や解説は、楽典資料など個人差があるので、あくまで目安です。

## 4. 演奏記号 ②

速度標語に  
添えられる言葉

### 【表】

標語表記

molto

poco

poco a poco

ritardando : rit.

rallentando : rall.

a tempo

accelerando : accel.

速度標語に添えられる言葉



タイトル

標語名

#### 【速度標語に添えられる言葉】

molto (モルト) 非常に / poco (ポーコ) 少し

poco a poco (ポーコ・ア・ポーコ) 少しづつ

#### 【テンポに関する標語／速度記号】

ritardando (リトルダント) 徐々に遅く rit. (リット) = ritard.

(表記例) rit. - - - - -

rallentando (ラレンタンド) だんだんゆるやかに rall.

a tempo (もとの速さで)

accelerando (アッセレランド) だんだん速く accel.

整理番号

速度標語 : 6

※代表的な物で他にも多数あります。

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

速度  
イメージ

(※標語とは関係ありません。)

演奏記号 〈強弱記号／速度記号、等〉は、ジャンルや楽曲により  
微妙に、解釈が違う場合があります。演奏者（監督／講師）の意図通りの演奏（歌）が  
求められる事もあり、個人で演奏（歌唱）される以外は、指導者の表現の意思確認をしましょう。

※標語表記のテンポの数値や解説は、楽典資料など個人差があるので、あくまで目安です。

## 4. 演奏記号 ③

演奏に関する記号

【表】

Two musical staves in G clef and common time are shown. The top staff illustrates a tie (tie) where two notes of the same pitch are connected by a curved line. The bottom staff shows a slur (slur) where a curved line groups multiple notes of different pitches. Red arrows point from the text labels to these specific markings.

矢印は  
記号の位置

演奏に関する記号

タイトル

【裏】

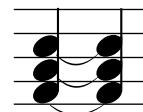
記号名

→ タイ(英: tie)

解説

瞬時に連続する 2 つの同じ高さの音符を弧線によって結ぶことによって、ひとつの音符のようにつなげて演奏することを表す。

- タイは音符のたまとたまとを結ぶ。
- スラーは和音を 1 本の弧線で結ぶが、  
タイの場合には、和音の構成音の各音ごとに弧線を結ぶ。
- 3 つ以上の音にタイを付けるには、音符の合間ごとに  
タイを付ける。



図解

整理番号

→ 演奏に関する記号 : 8

(※標語とは関係ありません。)

## 4. 演奏記号 ④

強弱記号

【表】

***ppp***

***pp***

***p***

強弱記号

【裏】

★

***ppp***

ピアニッシシモ

〈できるだけ やさしく、弱く〉

***pp***

ピアニッシモ

〈とても弱く やさしく〉

***p***

ピアノ

〈やさしく、弱く〉

強弱記号 : 19

## 【表】

D.S.      §

【Q1】



反復記号

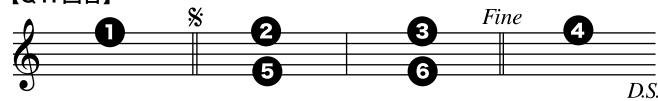
## 【裏】



D.S. ダル・セーニョ (伊: Dal segno)  
 § セーニョ (伊: segno)

D.S. から § の所まで戻り  
 Fine 等の終始記号で演奏が終わる。

【Q1: 回答】

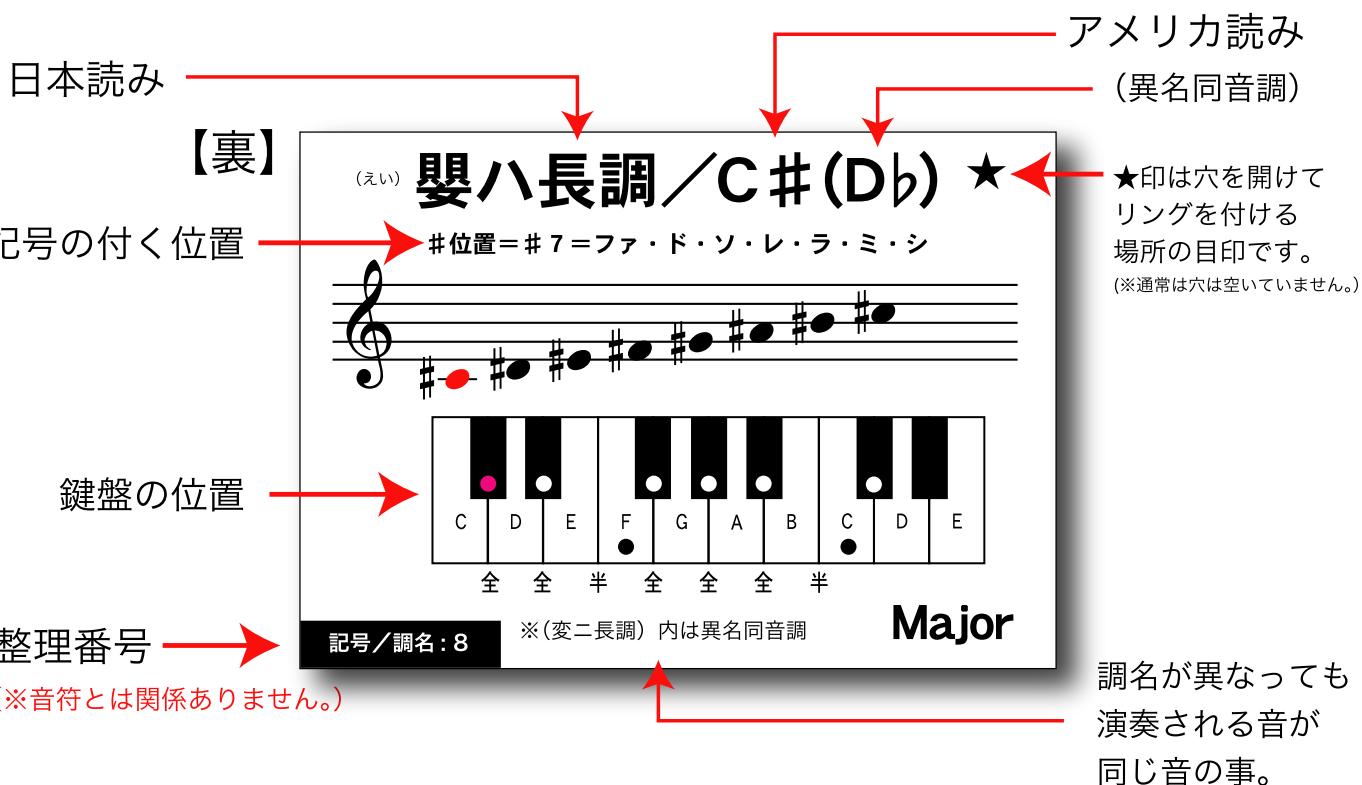
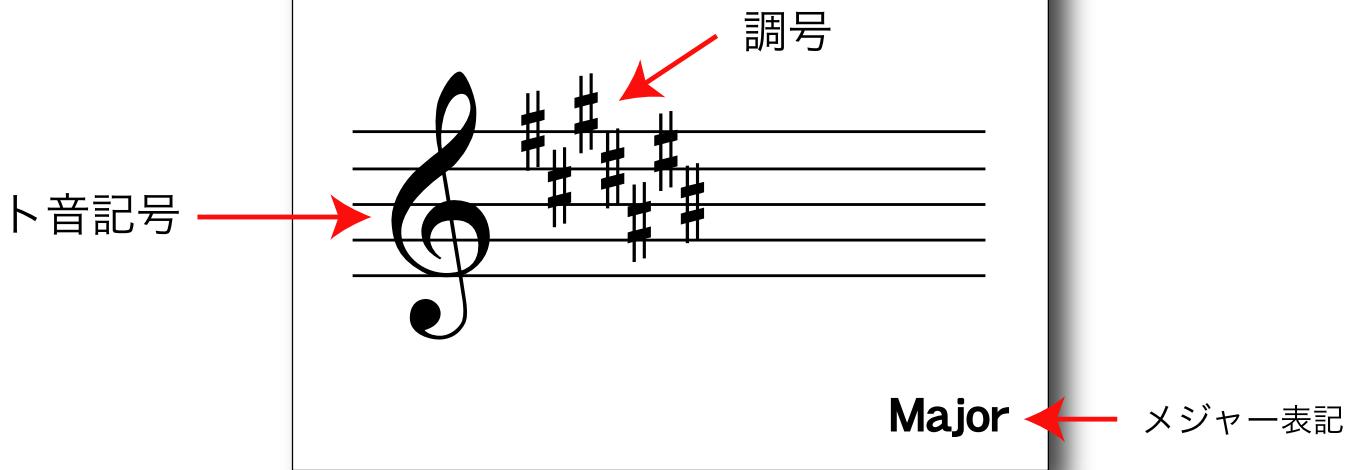


反復記号: 25

※ Fine(フィーネ) 終わり

## 5. 調号カード (長調: 1~15)

【表】



### 調号の主音(調名)を読む方法【長調の場合】

#の付く長調の場合は、調号の一番最後（右側）の#の付く音の「全音」上の音が、その調号の主音（調名）。

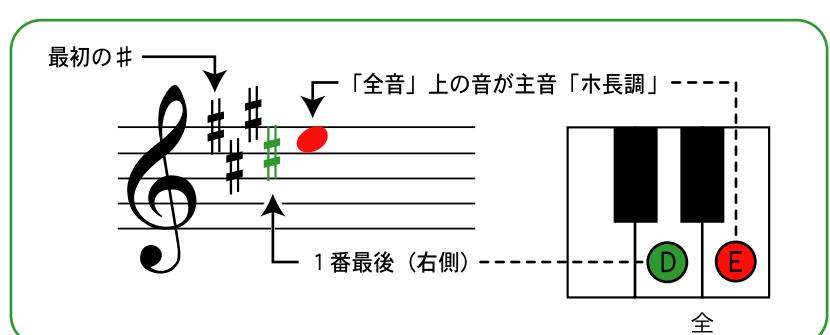
【注意】調号が、無い場合は「ハ長調」、♭1つは、「へ長調」です。

♭の付く長調の場合は、調号の一番最後（右側）から

2個目の音が、その調号の主音になります。

#は左から「ファ・ド・ソ・レ・ラ・ミ・シ」の順番で#を付ける！

♭は左から「シ・ミ・ラ・レ・ソ・ド・ファ」の順番で♭を付ける！



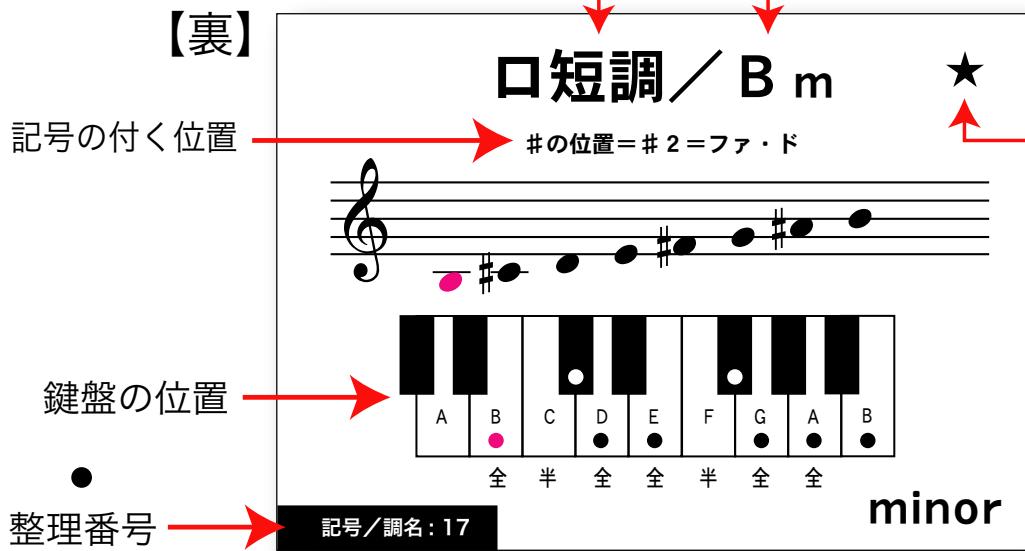
## 6. 調号カード (短調: 16~28)

【表】



日本読み → アメリカ読み

【裏】



(※音符とは関係ありません。)

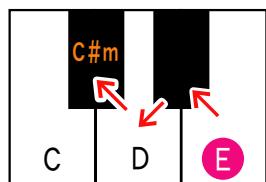
### 調号の主音(調名)を読む方法【短調の場合】

調号が、無い場合は (イ短調・Am)

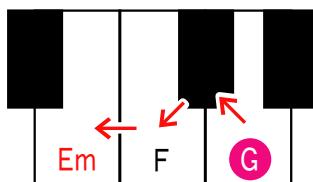
短調の主音は、その長調の主音を探して

その主音の隣より半音3つ下が、その短調の主音(調名)。

例: E(木長調)の場合



例: G(ト長調)の場合



#は左から「ファ・ド・ソ・レ・ラ・ミ・シ」の順番で#を付ける！

♭は左から「シ・ミ・ラ・レ・ソ・ド・ファ」の順番で♭を付ける！

## 7. 掲載項目表

### 【音 階】

4オクターブ ※音階の数は「付録-1：鍵盤表」を参照して下さい。(4 octave)

### 【調号カード：1～15（長調）】

ハ長調～変ハ長調

### 【調号カード：16～28（短調）】

イ短調～変イ短調

### 【音符種類】

全音符／2分音符／4分音符／8分音符／16分音符／32分音符

全休符／2分休符／4分休符／8分休符／16分休符／32分休符

1拍3連符／2拍3連符／4拍3連符

1拍5連符／1拍6連符／1拍7連符

半拍3連符／半拍5連／半拍6連／半拍7連

付点全音符／付点2分音符／付点4分音符／付点8分音符／付点16分音符

複付点全音符／複付点2分音符／複付点4分音符／複付点8分音符

### 【臨時記号】

シャープ／フラット／ダブルシャープ／ダブルフラット

ナチュラル／オクターブ記号

### 【演奏記号】

Grave／Largo／Larghetto／Lento／Adagio／Andante／Andantino

Moderato／Allegro Moderato／Allegretto／Allegro／Vivace

Presto／Prestissimo／molto／poco／poco a poco／ritardando

rallentando／a tempo／accelerando

スラー／タイ／スタッカート／スタッカーティッシモ／テヌート／フェルマータ

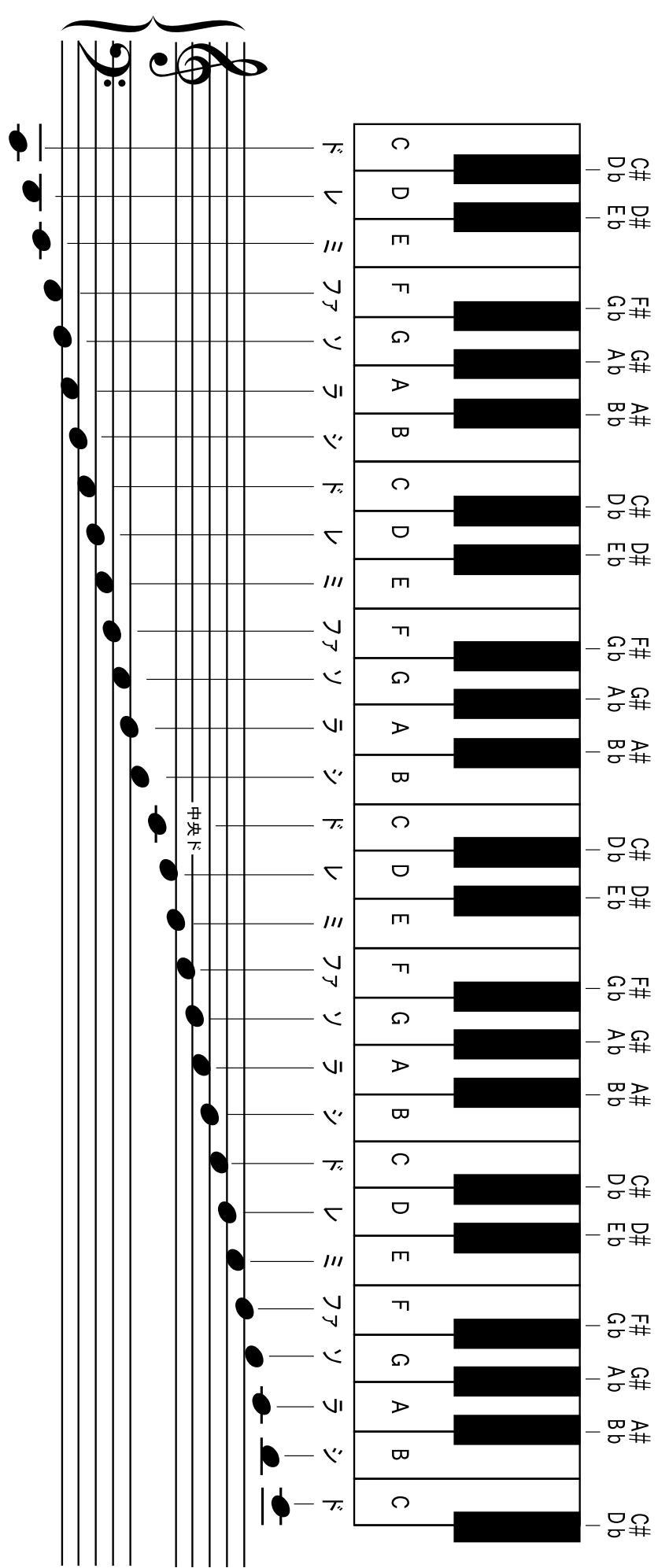
### 【反復記号】

リピート記号／ダ・カーポ／ダル・セニヨ／セニヨ／コーダ／トゥー・コーダ

### 【装飾音符】

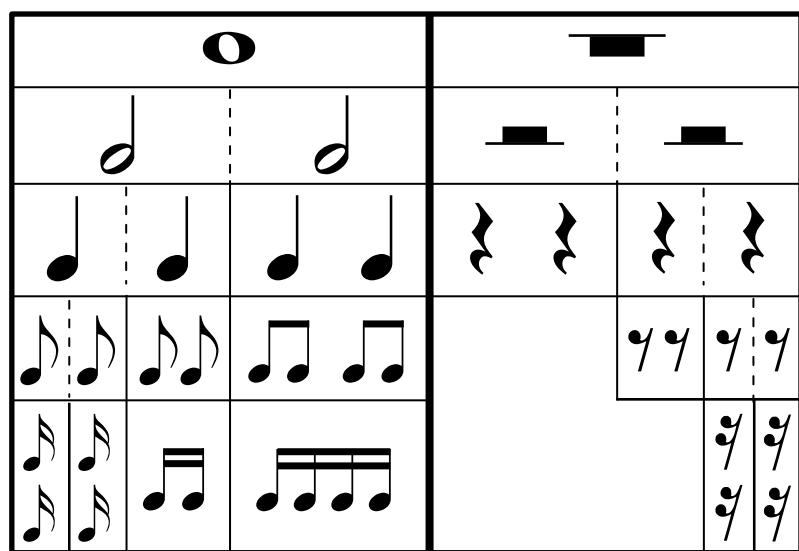
プラルトリラー／モルデント／トリル／ターン

## 鍵盤表（付録-1）



## (付録 -2)

## 1~6 弦は、ギターです。



## 音符カード（大人用）

子供用の音符カード（音符が読める様になる練習カード）は沢山ありますが、成人してからの音符カードは少ないようです。音符は数えていては、（ドからドレミファソだからソだ！と…。）いつまでも読めません。「漢字」を一目見て、読めるのと同じ様に丸覚えして、瞬時に言えなければ楽譜のスピードにはついて行けません。単純な方法ですが、「音符カード」が一番効率の良い「暗記方法」です。

大人になってからでも譜面を読む事が必要になる方が沢山します。

ミュージカル（歌や演技、ダンスが出来ても！）や楽器を始める全ての人が楽譜が読める訳ではありません。

しかし、ミュージカルや楽器（DTMを含む）をする場合、やはり、音符読みやピアノが出来た方が有利です。プロで活躍する場合は、初見で楽譜が読めないとやはりオーディションでも苦労する事になります。

まずは、このカードを使って直感的に読む練習をしましょう。

難しい理論は後回し！まずは、音符を瞬時に読める練習が楽譜を読む近道です。

また、ト音記号（高音部記号）は読めても、ヘ音記号（低音部記号）が以外と読めない方も沢山します。歌を歌うだけなら、ト音記号は不要かもしれません。しかし、作曲や初見で（オーディションなど）歌うときはピアノ譜やコード（和音）が読めた方が、楽曲を深く理解できます。

音符の他にも、調や演奏記号や速度記号などもありますので、勉強してみて下さい。

### 【覚え方】

- ・トランプの様に、順番をバラバラにして、「単語カード」の様に、めくりながら覚えましょう！
- ・家族や友人に、カードを渡して出題してもらうと楽しく覚えられます。
- ・覚えたカードは、外して少なくなる様にしましょう 全て、無くなれば 終了です。
- ・★の部分に穴を開けて「カードリング」で繋げてもOK

※必ず確認して下さい。

### 【セット内容】

#### ●基本セット（2種類のカード）※リング用の穴は空いていません。

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚）※表紙や付録を除く

#### ●フルセット（全4種類のカード）※リング用の穴は空いていません。

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚／演奏記号：27枚／調号カード：28枚+3枚）

※表紙や付録を除く　※説明書はHPでダウンロードして下さい。

#### ●完全リングセット（全4種類のカード+説明書）

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚／演奏記号：27枚／調号カード：28枚+3枚）

※表紙や付録を除く

※完全リングセット以外は説明書は貼付されていません、HPでダウンロードして下さい。

※ファイルホルダーのバーの色や仕様は予告無く、変わることあります。また色も選べません。

※音符カードの仕様や内容は予告無く、変わることあります。

## 2. 音階カード (1~31)

【表】

ト音記号  
又は、  
ヘ音記号

五線

加線

【裏】

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

日本読み

アメリカ読み

整理番号  
(※音符とは関係ありません。)

イタリア名：ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド (一般的な読み方)

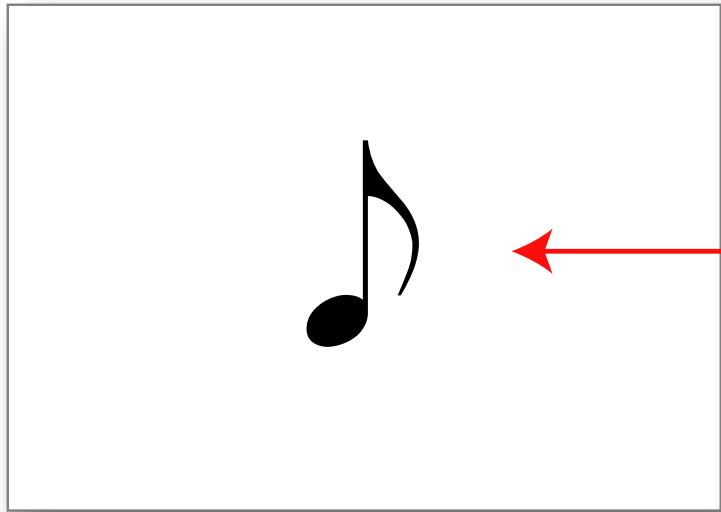
日本名：ハ ニ ホ ヘ トイロハ (調の読み方に多く使用)

アメリカ名：C D E F G A B C (ポピュラー)

※音階の数は「付録-1：鍵盤表」を参照して下さい。(4 octave)

### 3. 音符種類 (1~32)

【表】

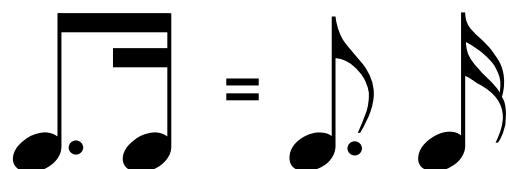


【裏】



整理番号

(※音符とは関係ありません。)



「はた」の付く音符が続いた場合は、繋げて表記される。

音符名称

ぼう  
(符幹)

はた (符尾)

付点

たま (符頭)

## 4. 演奏記号 ①

速度標語

【表】



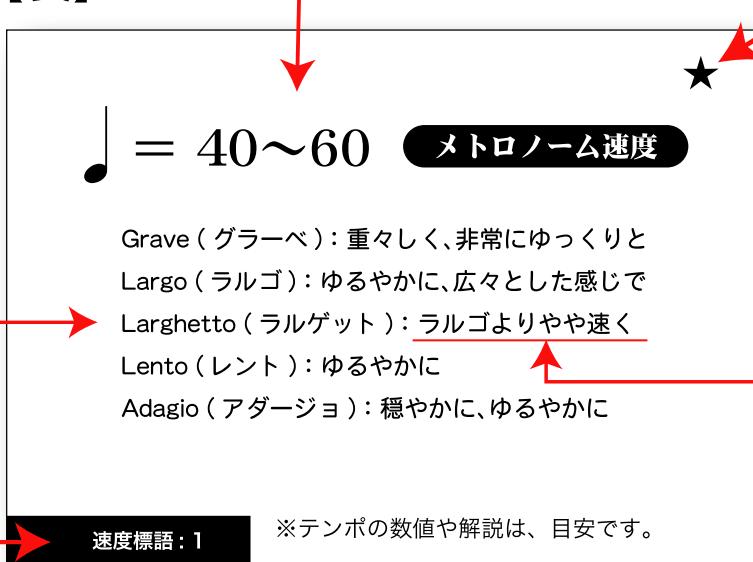
メトロノーム速度  
1分間に 40~60 個の 4 分音符が入る

【裏】

標語名 →

整理番号 →

(※標語とは関係ありません。)



★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

「BPM=120」や「M M: 120」と表示してある場合あります。

♩ 左に表示してある音符が一拍を数える基準になります。

※標語表記のテンポの数値や解説は、楽典資料など個人差があるので、あくまで目安です。

## 4. 演奏記号 ②

速度標語に  
添えられる言葉

### 【表】

標語表記

molto

poco

poco a poco

ritardando : rit.

rallentando : rall.

a tempo

accelerando : accel.

速度標語に添えられる言葉



タイトル

標語名

#### 【速度標語に添えられる言葉】

molto (モルト) 非常に / poco (ポーコ) 少し

poco a poco (ポーコ・ア・ポーコ) 少しづつ

#### 【テンポに関する標語／速度記号】

ritardando (リトルダント) 徐々に遅く rit. (リット) = ritard.

(表記例) rit. - - - - -

rallentando (ラレンタンド) だんだんゆるやかに rall.

a tempo (もとの速さで)

accelerando (アッセレランド) だんだん速く accel.

整理番号

速度標語 : 6

※代表的な物で他にも多数あります。

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

速度  
イメージ

(※標語とは関係ありません。)

演奏記号 〈強弱記号／速度記号、等〉は、ジャンルや楽曲により  
微妙に、解釈が違う場合があります。演奏者（監督／講師）の意図通りの演奏（歌）が  
求められる事もあり、個人で演奏（歌唱）される以外は、指導者の表現の意思確認をしましょう。

※標語表記のテンポの数値や解説は、楽典資料など個人差があるので、あくまで目安です。

## 4. 演奏記号 ③

演奏に関する記号

【表】

Two musical staves in G clef and common time are shown. The top staff illustrates a tie (tie) where two notes of the same pitch are connected by a curved line. The bottom staff shows a slur (slur) where a curved line groups multiple notes of different pitches. Red arrows point from the text labels to these specific markings.

矢印は  
記号の位置

演奏に関する記号

タイトル

【裏】

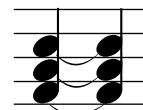
記号名

→ タイ(英: tie)

解説

瞬時に連続する 2 つの同じ高さの音符を弧線によって結ぶことによって、ひとつの音符のようにつなげて演奏することを表す。

- タイは音符のたまとたまとを結ぶ。
- スラーは和音を 1 本の弧線で結ぶが、  
タイの場合には、和音の構成音の各音ごとに弧線を結ぶ。
- 3 つ以上の音にタイを付けるには、音符の合間ごとに  
タイを付ける。



図解

整理番号

→ 演奏に関する記号 : 8

(※標語とは関係ありません。)

## 4. 演奏記号 ④

強弱記号

【表】

***ppp***

***pp***

***p***

強弱記号

【裏】

★

***ppp***

ピアニッシシモ

〈できるだけ やさしく、弱く〉

***pp***

ピアニッシモ

〈とても弱く やさしく〉

***p***

ピアノ

〈やさしく、弱く〉

強弱記号 : 19

## 【表】

D.S.      §

【Q1】



反復記号

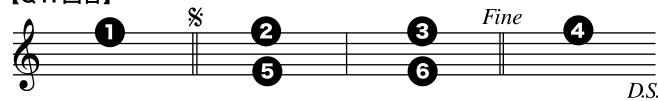
## 【裏】



D.S. ダル・セーニョ (伊: Dal segno)  
 § セーニョ (伊: segno)

D.S. から § の所まで戻り  
 Fine 等の終始記号で演奏が終わる。

【Q1: 回答】

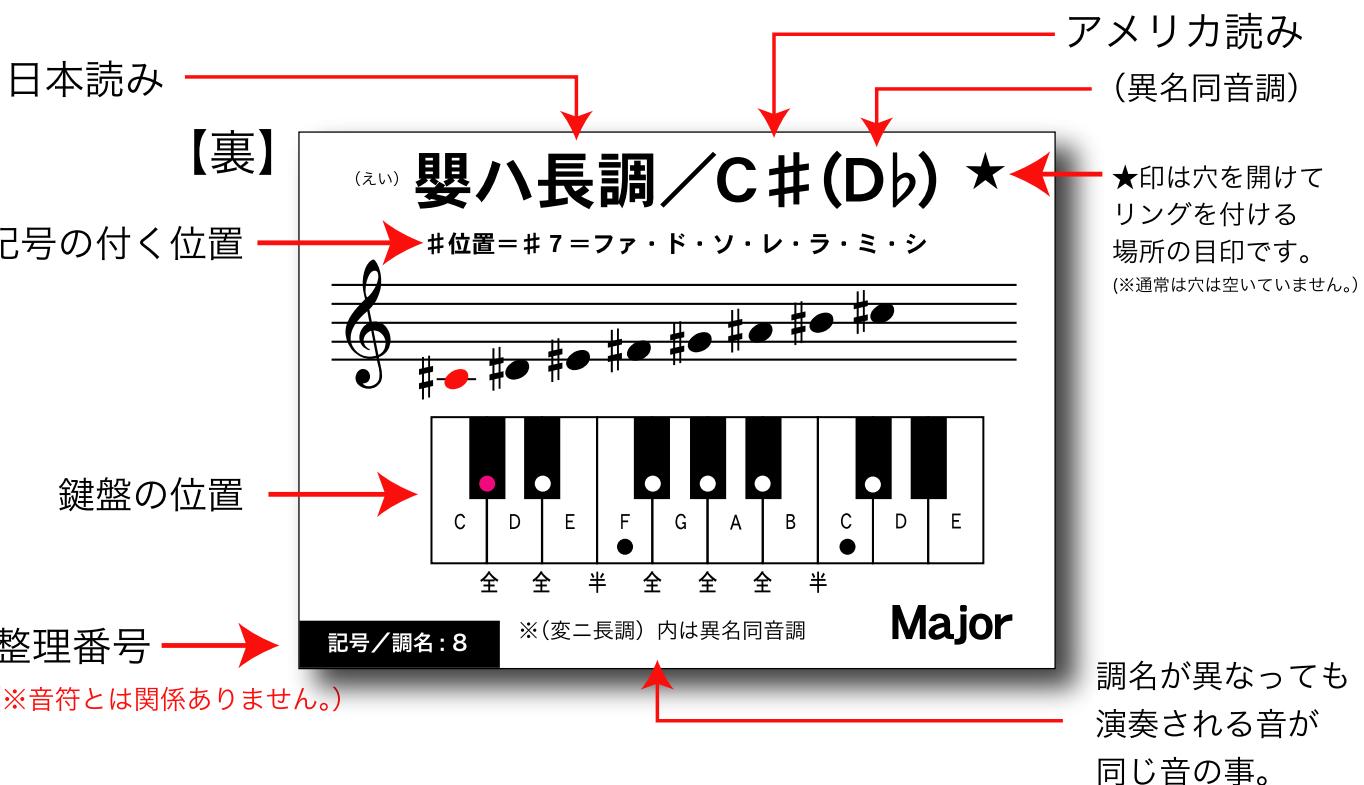
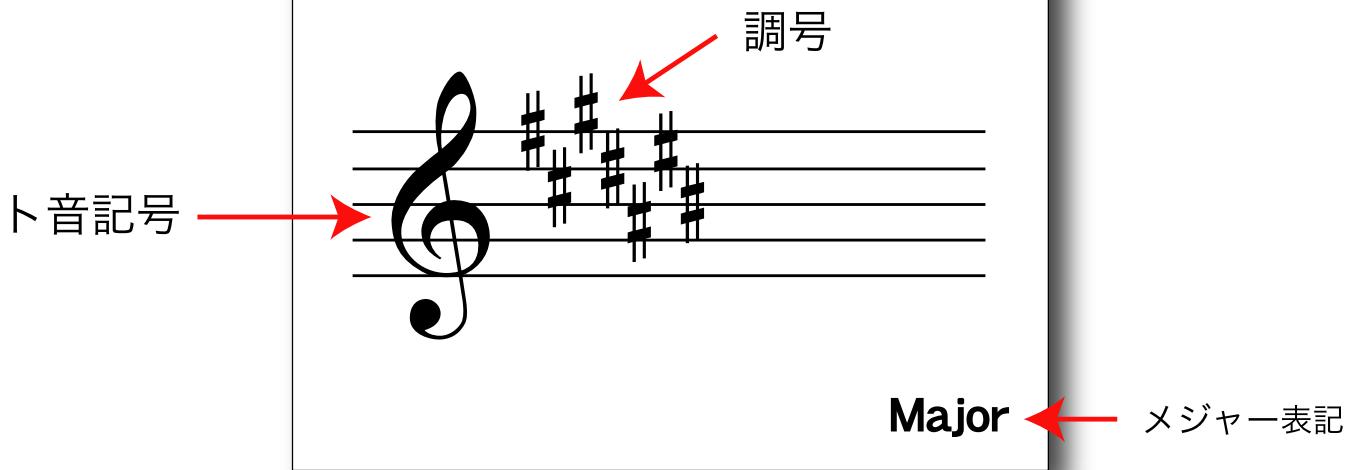


反復記号: 25

※ Fine(フィーネ) 終わり

## 5. 調号カード (長調: 1~15)

【表】



### 調号の主音(調名)を読む方法【長調の場合】

#の付く長調の場合は、調号の一番最後(右側)の#の付く音の「全音」上の音が、その調号の主音(調名)。

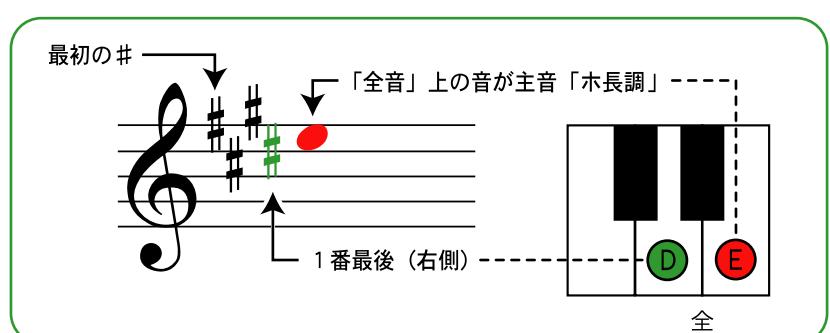
【注意】調号が無い場合は「ハ長調」、♭1つは、「へ長調」です。

♭の付く長調の場合は、調号の一番最後(右側)から

2個目の音が、その調号の主音になります。

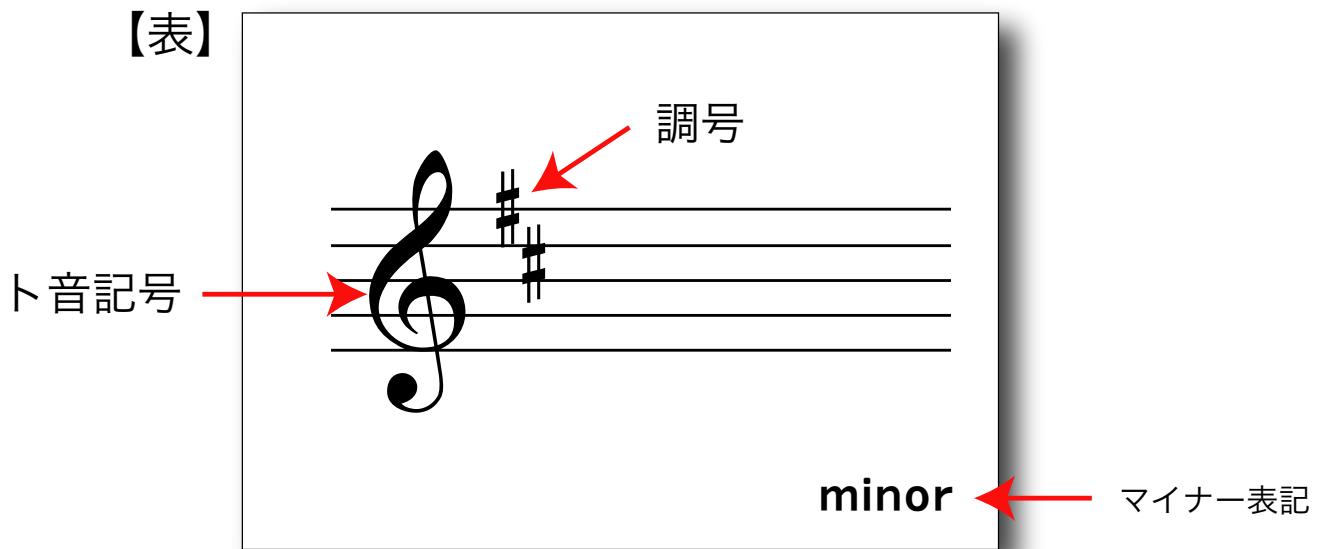
#は左から「ファ・ド・ソ・レ・ラ・ミ・シ」の順番で#を付ける！

♭は左から「シ・ミ・ラ・レ・ソ・ド・ファ」の順番で♭を付ける！



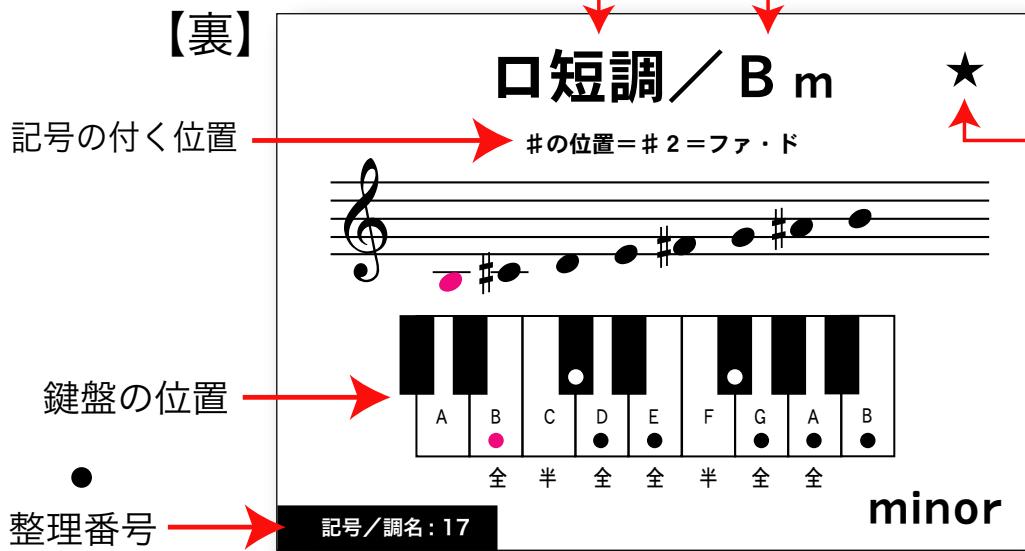
## 6. 調号カード (短調: 16~28)

【表】



日本読み → アメリカ読み

【裏】



(※音符とは関係ありません。)

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

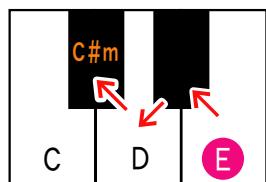
### 調号の主音(調名)を読む方法【短調の場合】

調号が、無い場合は (イ短調・Am)

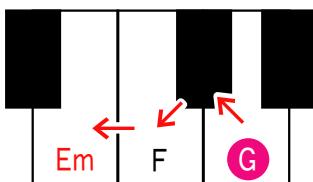
短調の主音は、その長調の主音を探して

その主音の隣より半音 3つ下が、その短調の主音 (調名)。

例: E (木長調) の場合



例: G (ト長調) の場合



#は左から「ファ・ド・ソ・レ・ラ・ミ・シ」の順番で#を付ける！

♭は左から「シ・ミ・ラ・レ・ソ・ド・ファ」の順番で♭を付ける！

## 7. 掲載項目表

### 【音 階】

4オクターブ ※音階の数は「付録-1：鍵盤表」を参照して下さい。(4 octave)

### 【調号カード：1～15（長調）】

ハ長調～変ハ長調

### 【調号カード：16～28（短調）】

イ短調～変イ短調

### 【音符種類】

全音符／2分音符／4分音符／8分音符／16分音符／32分音符

全休符／2分休符／4分休符／8分休符／16分休符／32分休符

1拍3連符／2拍3連符／4拍3連符

1拍5連符／1拍6連符／1拍7連符

半拍3連符／半拍5連／半拍6連／半拍7連

付点全音符／付点2分音符／付点4分音符／付点8分音符／付点16分音符

複付点全音符／複付点2分音符／複付点4分音符／複付点8分音符

### 【臨時記号】

シャープ／フラット／ダブルシャープ／ダブルフラット

ナチュラル／オクターブ記号

### 【演奏記号】

Grave／Largo／Larghetto／Lento／Adagio／Andante／Andantino

Moderato／Allegro Moderato／Allegretto／Allegro／Vivace

Presto／Prestissimo／molto／poco／poco a poco／ritardando

rallentando／a tempo／accelerando

スラー／タイ／スタッカート／スタッカーティッシモ／テヌート／フェルマータ

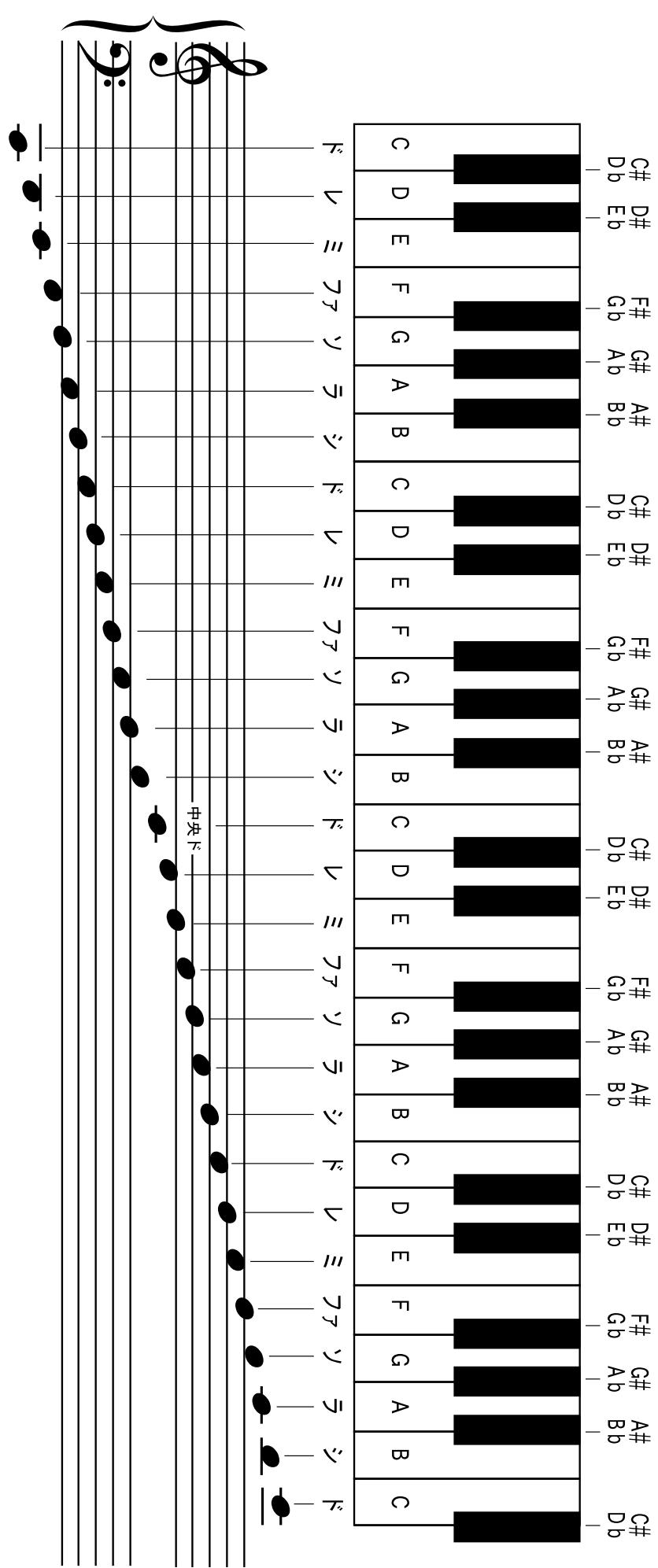
### 【反復記号】

リピート記号／ダ・カーポ／ダル・セニヨ／セニヨ／コーダ／トゥー・コーダ

### 【装飾音符】

プラルトリラー／モルデント／トリル／ターン

## 鍵盤表（付録-1）



## (付録 -2)

1～6 弦は、ギターです。

※開放弦

**C△**

**C4**

O		-	

### 音符カード ※小さいお子様の場合は、大人がカードを見せて答える形が、楽しく出来ます。

子供用の音符カード（動物の絵等で可愛くデザインされた物）は沢山ありますが、成人してからの音符カードは少ないようです。音符は数えていては、（ドからドレミファソだからソだ！と…。）いつまでも読めません。「漢字」を一目見て、読めるのと同じ様に丸覚えして、瞬時に言えなければ楽譜のスピードにはついて行けません。単純な方法ですが、「音符カード」が一番効率の良い「暗記方法」です。

大人になってからでも譜面を読む事が必要になる方が沢山します。

ミュージカル（歌や演技、ダンスが出来ても！）や楽器を始める全ての人が楽譜が読める訳ではありません。

しかし、ミュージカルや楽器（DTMを含む）をする場合、やはり、音符読みやピアノが出来た方が有利です。プロで活躍する場合は、初見で楽譜が読めないとやはりオーディションでも苦労する事になります。

まずは、このカードを使って直感的に読む練習をしましょう。

難しい理論は後回し！まずは、音符を瞬時に読める練習が楽譜を読む近道です。

また、ト音記号（高音部記号）は読めても、ヘ音記号（低音部記号）が以外と読めない方も沢山します。歌を歌うだけなら、ト音記号は不要かもしれません。しかし、作曲や初見で（オーディションなど）歌うときはピアノ譜やコード（和音）が読めた方が、楽曲を深く理解できます。

音符の他にも、調や演奏記号や速度記号などもありますので、勉強してみて下さい。

#### 【覚え方】

- ・トランプの様に、順番をバラバラにして、「単語カード」の様に、めくりながら覚えましょう！
- ・家族や友人に、カードを渡して出題してもらうと楽しく覚えられます。
- ・覚えたカードは、外して少なくなる様にしましょう 全て、無くなれば 終了です。
- ・★の部分に穴を開けて「カードリング」で繋げても OK

※必ず確認して下さい。

#### 【セット内容】

##### ●基本セット（2種類のカード） ※リング用の穴は空いていません。

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚） ※表紙や付録を除く

##### ●フルセット（全4種類のカード） ※リング用の穴は空いていません。

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚／演奏記号：27枚／調号カード：28枚+3枚）

※表紙や付録を除く ※説明書はHPでダウンロードして下さい。

##### ●完全リングセット（全4種類のカード+説明書）

（音階カード：31枚／音符種類カード：32枚／演奏記号：27枚／調号カード：28枚+3枚）

※表紙や付録を除く

※完全リングセット以外は説明書は貼付されていません、HPでダウンロードして下さい。

※ファイルホルダーのバーの色や仕様は予告無く、変わることあります。また色も選べません。

※音符カードの仕様や内容は予告無く、変わることあります。

## 2. 音階カード (1~31)

【表】

ト音記号  
又は、  
ヘ音記号

五線

加線

【裏】

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

日本読み

ド

アメリカ読み

シド

01 整理番号

(※音符とは関係ありません。)

イタリア名：ド レ ミ ファ ソ ラ シド (一般的な読み方)

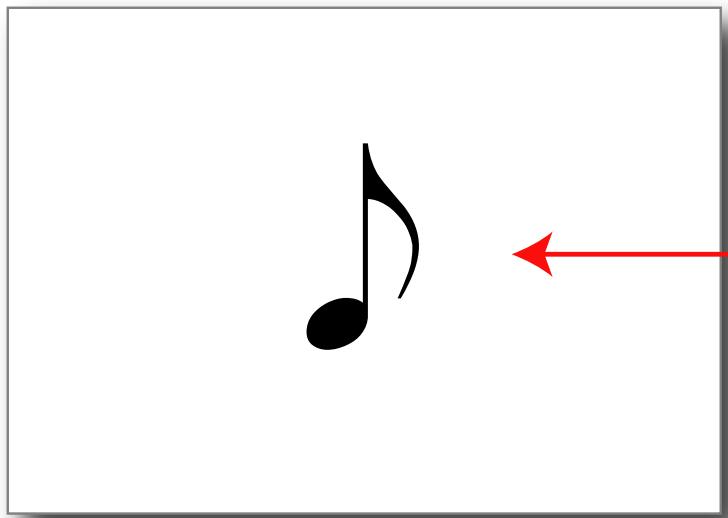
日本名：ハニホヘトイロハ (調の読み方に多く使用)

アメリカ名：C D E F G A B C (ポピュラー)

※音階の数は「付録-1：鍵盤表」を参照して下さい。(4 octave)

### 3. 音符種類 (1~32)

【表】

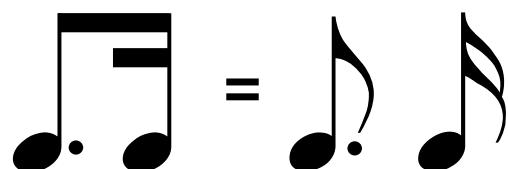


【裏】



整理番号

(※音符とは関係ありません。)



「はた」の付く音符が続いた場合は、  
繋げて表記される。

音符名称

ぼう  
(符幹)

はた (符尾)

付点  
たま (符頭)

## 4. 演奏記号 ①

速度標語

【表】



メトロノーム速度  
1分間に 40~60 個の 4 分音符が入る

【裏】

標語名 →

整理番号 →

(※標語とは関係ありません。)



$\text{♩} = 40\sim60$  メトロノーム速度

Grave ( グラーベ ) : 重々しく、非常にゆっくりと

Largo ( ラルゴ ) : ゆるやかに、広々とした感じで

Larghetto ( ラルゲット ) : ラルゴよりやや速く

Lento ( レント ) : ゆるやかに

Adagio ( アダージョ ) : 穏やかに、ゆるやかに

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

速度イメージ

速度標語 : 1 ※テンポの数値や解説は、目安です。

「BPM=120」 や 「MM: 120」 と表示してある場合あります。

$\text{♩}$  左に表示してある音符が一拍を数える基準になります。

※標語表記のテンポの数値や解説は、楽典資料など個人差があるので、あくまで目安です。

## 4. 演奏記号 ②

速度標語に  
添えられる言葉

### 【表】

標語表記

molto

poco

poco a poco

ritardando : rit.

rallentando : rall.

a tempo

accelerando : accel.

速度標語に添えられる言葉



タイトル

標語名

#### 【速度標語に添えられる言葉】

molto (モルト) 非常に / poco (ポーコ) 少し

poco a poco (ポーコ・ア・ポーコ) 少しづつ

#### 【テンポに関する標語／速度記号】

ritardando (リトルダント) 徐々に遅く rit. (リット) = ritard.

(表記例) rit. - - - - -

rallentando (ラレンタンド) だんだんゆるやかに rall.

a tempo (もとの速さで)

accelerando (アッセレランド) だんだん速く accel.

整理番号

速度標語 : 6

※代表的な物で他にも多数あります。

(※標語とは関係ありません。)

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

速度  
イメージ

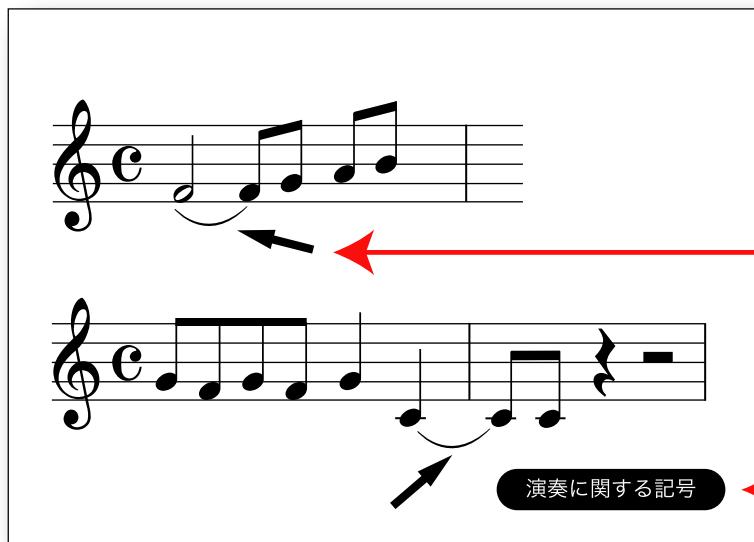
演奏記号 〈強弱記号／速度記号、等〉は、ジャンルや楽曲により  
微妙に、解釈が違う場合があります。演奏者（監督／講師）の意図通りの演奏（歌）が  
求められる事もあり、個人で演奏（歌唱）される以外は、指導者の表現の意思確認をしましょう。

※標語表記のテンポの数値や解説は、楽典資料など個人差があるので、あくまで目安です。

## 4. 演奏記号 ③

演奏に関する記号

【表】



矢印は記号の位置

演奏に関する記号

タイトル

【裏】

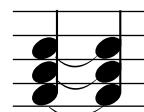
記号名

→ **タイ(英: tie)**

解説

→ 繼時的に連続する 2 つの同じ高さの音符を弧線によって結ぶことによって、ひとつの音符のようにつなげて演奏することを表す。

- タイは音符のたまとたまとを結ぶ。
- スラーは和音を 1 本の弧線で結ぶが、  
タイの場合には、和音の構成音の各音ごとに弧線を結ぶ。
- 3 つ以上の音にタイを付けるには、音符の合間ごとに  
タイを付ける。



図解

整理番号

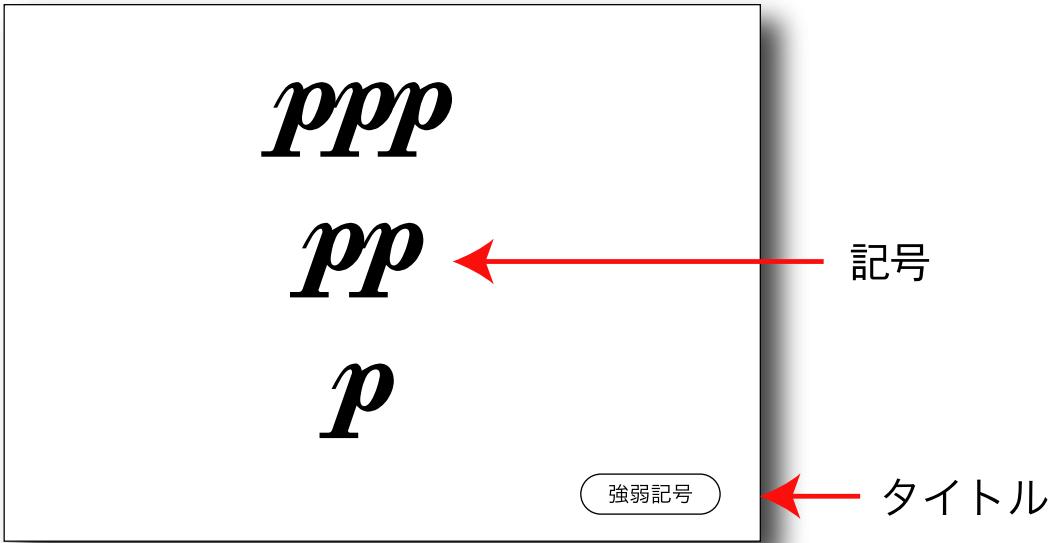
→ 演奏に関する記号 : 8

(※標語とは関係ありません。)

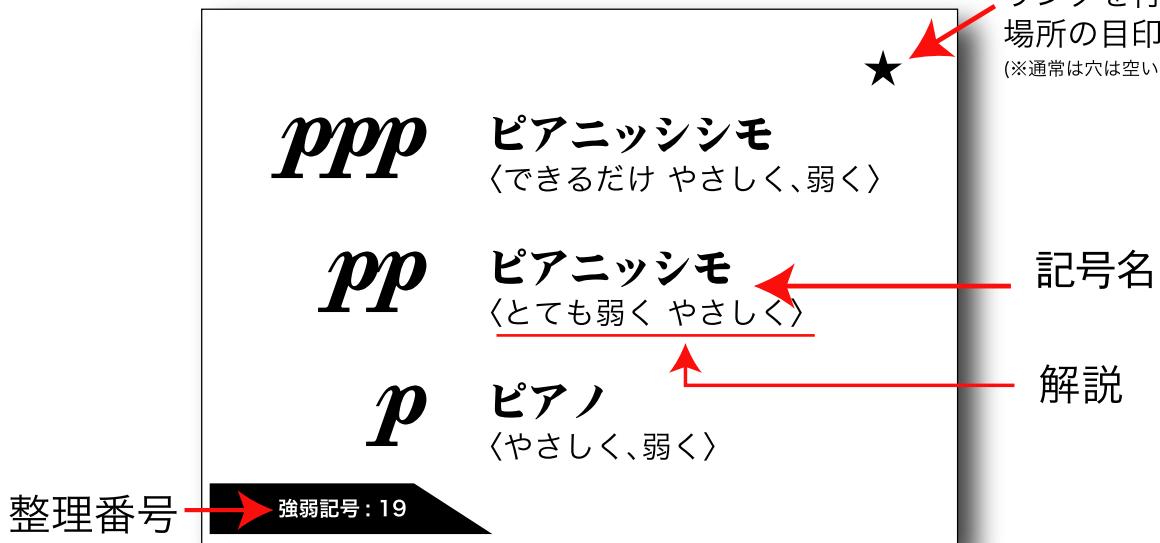
## 4. 演奏記号 ④

強弱記号

【表】



【裏】



※標語表記のテンポの数値や解説は、楽典資料など個人差があるので、あくまで目安です。

## 4. 演奏記号 ⑤

反復記号

【表】

記号 **D.S.** 記号

【Q1】

例題

反復記号

タイトル

この図は、音楽用語「D.S.」（ダル・セーニョ）と「Fine」の記号を示す表です。上部には「D.S.」と「Fine」の記号が赤い矢印で示されています。下部には楽譜が示され、「【Q1】」と題されています。楽譜には「Fine」の記号と「D.S.」の記号が記載されています。また、「反復記号」と「タイトル」が赤い矢印で示されています。

【裏】

★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

D.S. ダル・セーニョ (伊: Dal segno)  
セーニョ (伊: segno) 記号名

D.S. から **セーニョ** の所まで戻り  
Fine 等の終始記号で演奏が終わる。

【Q1: 回答】

1 2 3 4 Fine 5 6 D.S.

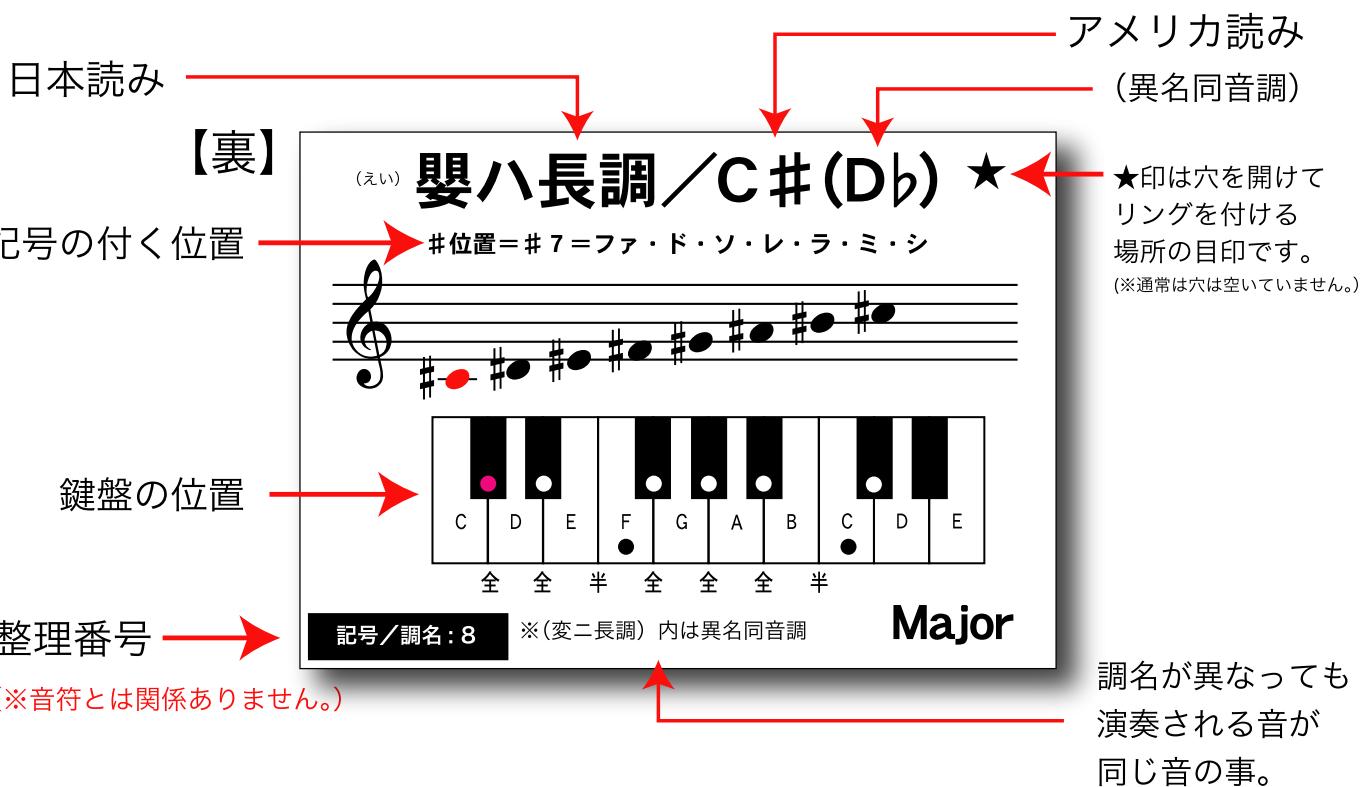
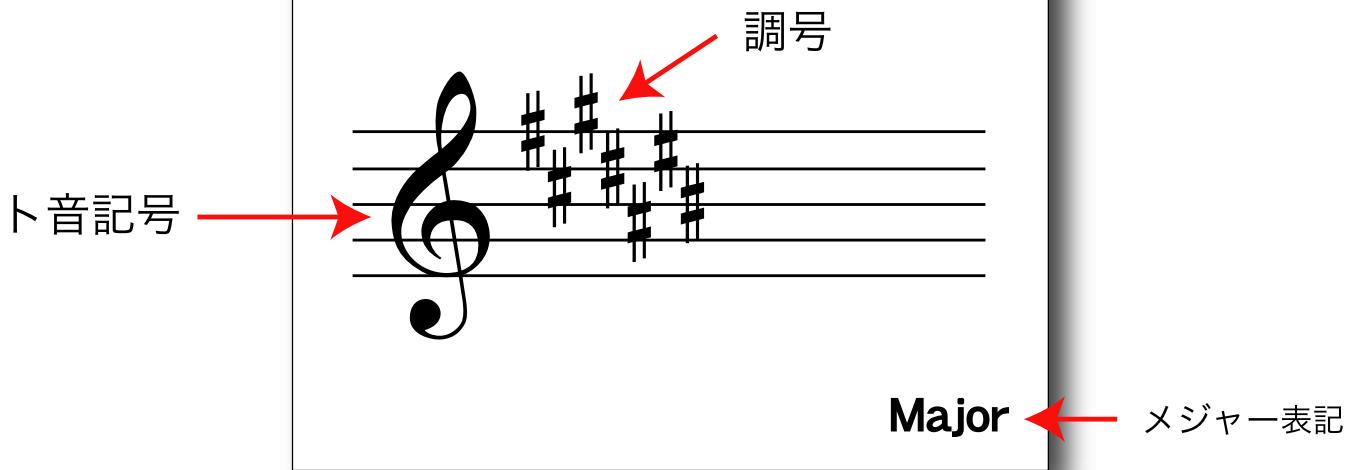
整理番号 反復記号: 25 例題回答

(※音符とは関係ありません。)

この図は、音楽用語「D.S.」（ダル・セーニョ）と「Fine」の記号を示す裏面の説明図です。上部には「★印は穴を開けて」と記載されています。下部には「D.S. ダル・セーニョ (伊: Dal segno)」と「セーニョ (伊: segno) 記号名」と記載されています。また、「D.S. から **セーニョ** の所まで戻り」と記載されています。下部には楽譜が示され、「【Q1: 回答】」と題されています。楽譜には「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「6」の数字が音符の位置に記載されています。また、「Fine」の記号と「D.S.」の記号が記載されています。また、「整理番号」と「反復記号: 25」と記載されています。

## 5. 調号カード (長調: 1~15)

【表】



### 調号の主音(調名)を読む方法【長調の場合】

#の付く長調の場合は、調号の一番最後（右側）の#の付く音の「全音」上の音が、その調号の主音（調名）。

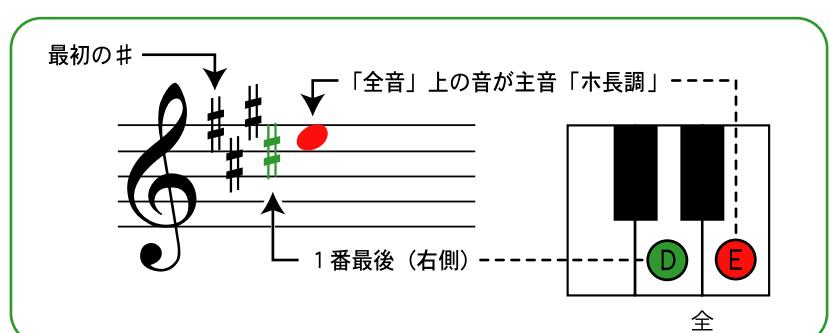
【注意】調号が、無い場合は「ハ長調」 ♭1つは、「ヘ長調」です。

♭の付く長調の場合は、調号の一番最後（右側）から

2個目の音が、その調号の主音になります。

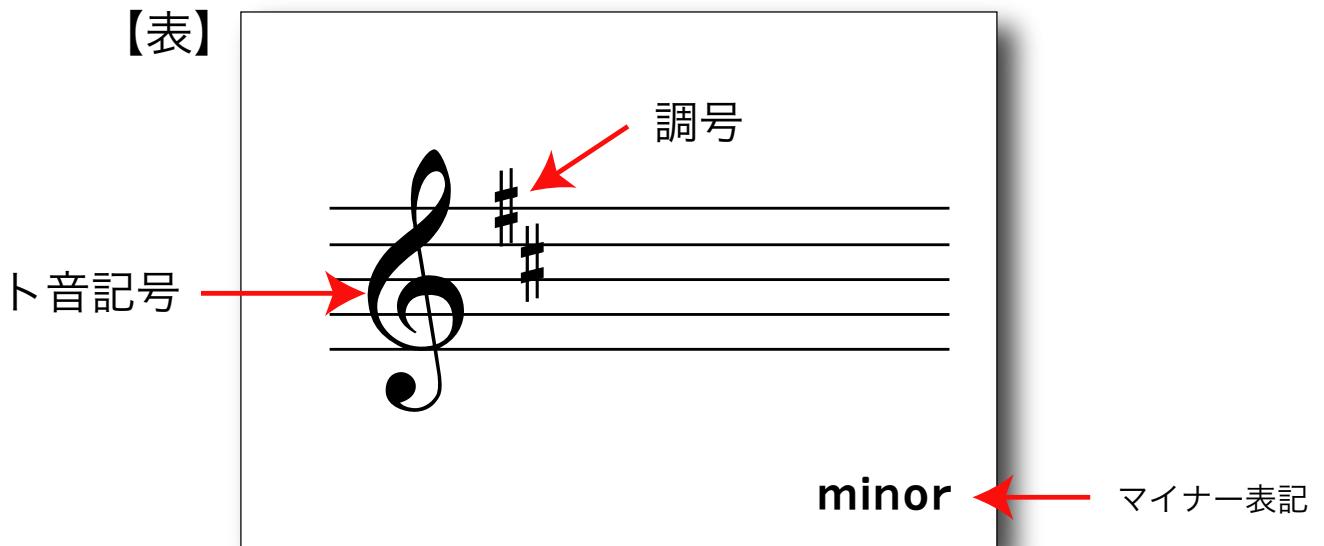
#は左から「ファ・ド・ソ・レ・ラ・ミ・シ」  
の順番で#を付ける！

♭は左から「シ・ミ・ラ・レ・ソ・ド・ファ」  
の順番で♭を付ける！



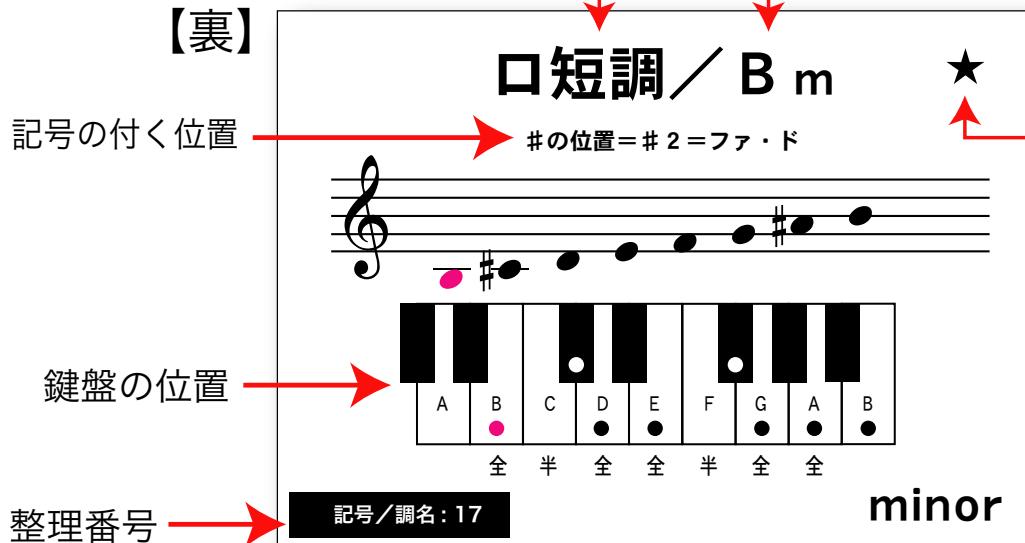
## 6. 調号カード (短調: 16~28)

【表】



日本読み → アメリカ読み

【裏】



★印は穴を開けて  
リングを付ける  
場所の目印です。  
(※通常は穴は空いていません。)

(※音符とは関係ありません。)

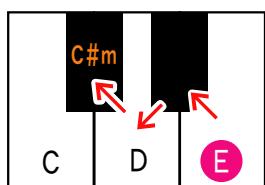
### 調号の主音(調名)を読む方法【短調の場合】

調号が、無い場合は (イ短調・Am)

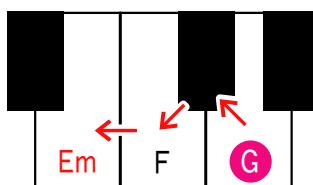
短調の主音は、その長調の主音を探して

その主音の隣より半音 3つ下が、その短調の主音 (調名)。

例: E (ホ長調) の場合



例: G (ト長調) の場合



#は左から「ファ・ド・ソ・レ・ラ・ミ・シ」の順番で#を付ける！

♭は左から「シ・ミ・ラ・レ・ソ・ド・ファ」の順番で♭を付ける！

## 7. 掲載項目表

### 【音 階】

4オクターブ ※音階の数は「付録-1：鍵盤表」を参照して下さい。(4 octave)

### 【調号カード：1～15（長調）】

ハ長調～変ハ長調

### 【調号カード：16～30（短調）】

イ短調～嬰イ短調

### 【音符種類】

全音符／2分音符／4分音符／8分音符／16分音符／32分音符

全休符／2分休符／4分休符／8分休符／16分休符／32分休符

1拍3連符／2拍3連符／4拍3連符

1拍5連符／1拍6連符／1拍7連符

半拍3連符／半拍5連／半拍6連／半拍7連

付点全音符／付点2分音符／付点4分音符／付点8分音符／付点16分音符

複付点全音符／複付点2分音符／複付点4分音符／複付点8分音符

### 【臨時記号】

シャープ／フラット／ダブルシャープ／ダブルフラット

ナチュラル／オクターブ記号

### 【演奏記号】

Grave／Largo／Larghetto／Lento／Adagio／Andante／Andantino

Moderato／Allegro Moderato／Allegretto／Allegro／Vivace

Presto／Prestissimo／molto／poco／poco a poco／ritardando

rallentando／a tempo／accelerando

スラー／タイ／スタッカート／スタッカーティッシモ／テヌート／フェルマータ

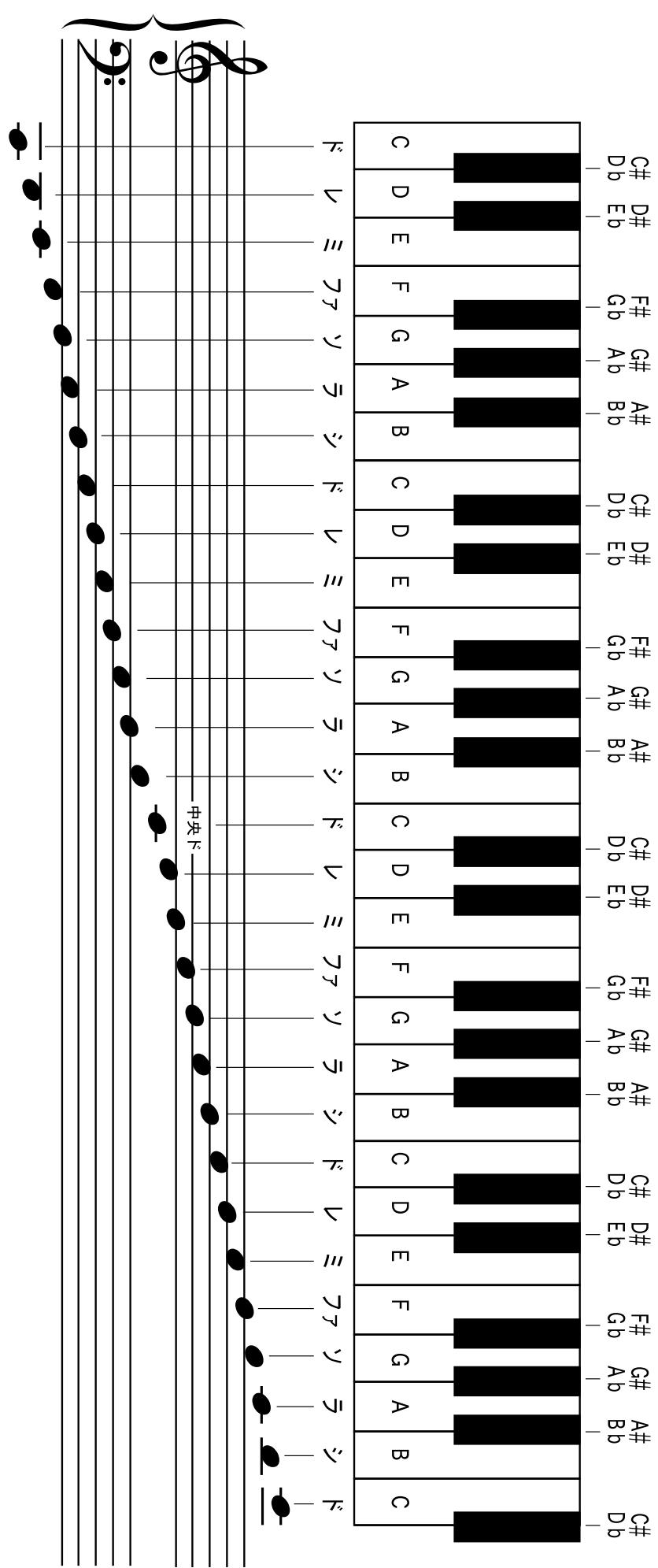
### 【反復記号】

リピート記号／ダ・カーポ／ダル・セニヨ／セニヨ／コーダ／トゥー・コーダ

### 【装飾音符】

プラルトリラー／モルデント／トリル／ターン

## 鍵盤表（付録-1）

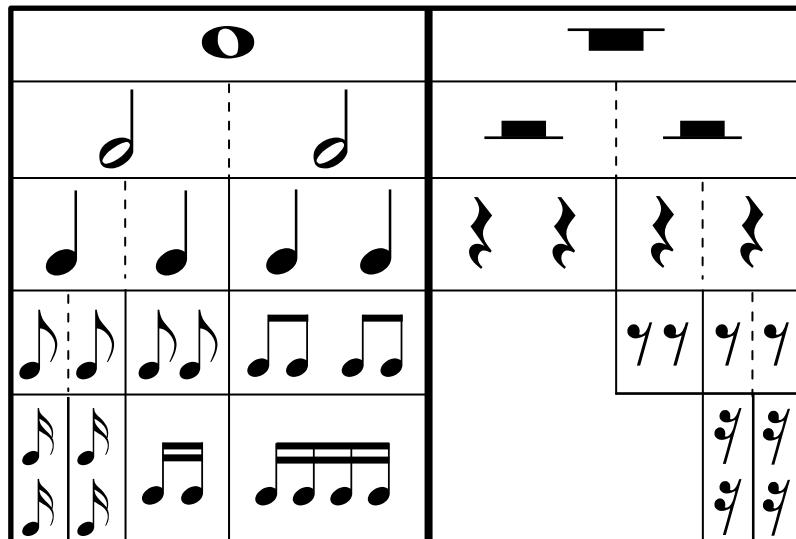


## (付録 -2)

1~6 弦は、ギターです。

※開放弦

**C4**



### 【取り扱い上のご注意】

- このカード防水加工ではありません 絶対に水に濡らさないで下さい。
- リングを強く引くとカードの穴が破れる場合があります。
- 鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。
- 強く擦ったりするとインクが剥がれる場合があります。
- 取り扱い説明書のバインダー部分がひび割れや変形等した場合は、早めに文房具店等で購入して頂き交換して下さい。破損した物は危険ですから絶対に使用しないで下さい。
- 標語表記のテンポの数値や解説は、楽典資料など個人差があるので、あくまで目安です。演奏記号（強弱記号／速度記号、等）は、ジャンルや楽曲により微妙に、解釈が違う場合があります。演奏者（監督／講師）の意図通りの演奏（歌）が求められる事もあり、個人で演奏（歌唱）される以外は、指導者の表現の意思確認をしましょう。
- ご自分でカードに穴を開ける場合は、怪我をしないように、注意して加工して下さい。〈カードの推奨年齢：16才以上〉

### 〈保管上のご注意〉

- 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。
- カードに重いものを置いたり、落としたりしないで下さい。